

令和7年6月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書
(通告者 14名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 熱中症対策について 2 平和行政及び平和教育について	9 番 笹森 波 (1)直近3か年の本市における熱中症による救急搬送人数とその屋内・屋外の内訳を伺う。 (2)小中義務教育学校や公共施設にミストシャワーを設置すべき。 (1)義務教育における平和教育の取組を伺う。 (2)戦争の悲惨さや平和の尊さをどのように後世に伝えるのか、本市の取組を伺う。 (3)戦争体験者の講話や本の読み聞かせ等を活用し、幅広い世代が戦争と平和について考える機会を持てるよう取り組むべき。 (4)毎年8月に図書館等で戦争平和関連特集コーナー等を設置すべき。また、広報紙や市ホームページで平和への取組を掲載し、風化させない取組をすべき。	消防長 市 長 教育長 教育長 市 長 教育長 教育長 市 長 教育長	
2	1 中学生海外派遣事業について 2 国際交流及び多文化共生の体制づくりについて	6 番 寺嶋 雅子 (1)令和6年度に実施したカナダ派遣事業の成果と課題について伺う。 (2)現在1・2学年を対象としているが、2学年のみの1学年制に戻すべき。 (3)派遣経験者が国際交流活動を継続するための情報提供及び情報発信機会の提供をどのように行っているのか伺う。また、ホームステイ受入れ家庭の増加策についても伺う。 (4)抽選に漏れた参加希望者や市民に向けて、広く派遣事業の報告を行い、国際化に対応した人材を育成すべき。 (5)派遣経験者が本市での国際交流活動に継続的に関わる仕組みを構築すべき。 (1)市内外国人居住者数や国籍、家族構成等の傾向の変化と、本市の国際交流及び多文化共生に関する課題をどう捉えているのか伺う。 (2)国際交流及び多文化共生の取組は外国人の支援にとどまらず、地域全体に恩恵をもたらすものであるという視点から、国際交流協会設立に向けて市としてどのように取り組むのか伺う。 (3)任意団体として活動している市内の国際交流団体が、委託事業以外にも提案事業や相談対応など大きな役割を果たしていることを評価し、法人格取得に向けた支援を行うべき。 (4)同団体の国際交流事業について、活動全般に対する運営費を助成すべき。 (5)令和5年度に実施した外国人居住者ニーズ調査結果の活用について考えを伺う。 (6)外国人が働く企業や施設経営者を把握し、外国人の生活支援について市、企業等と国際交流団体が意見交換をする機会を設けるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(7)防災や環境、学校教育等においても多文化共生の課題は今後増加するものと考えられる。多文化共生に関する行政内部の体制として、庁内に専門の係を設置すべき。	市 長	
3	1 名取市教育振興基本計画における生涯スポーツの振興について	10番 千葉 栄幸 (1)基本計画の主要施策5－1スポーツに親しむ機会の充実に、プロスポーツ・アマチュアスポーツ団体との連携により「本物」のスポーツに触れる機会を創出しスポーツの裾野を広げるとあるが、令和7年度の取組について伺う。 (2)包括連携協定を締結しているプロスポーツチームや、本市で活動しているスポーツ団体の選手のプレーに直接触れる機会を創出すべき。 (3)基本計画の主要施策5－2スポーツ施設の整備充実に、市内体育施設利用者の増加に対応し、学校施設の開放により、市民にスポーツをする機会を提供するため、学校体育施設の維持に努めるとあるが、学校施設を利用できる社会体育団体の令和5・6年度及び令和7・8年度の登録数について伺う。 (4)令和6年度において、主として学校施設を利用し活動している社会体育団体数と、週3回以上学校施設を利用する社会体育団体数について伺う。 (5)学校施設開放に係る利用手続の現状について伺う。 (6)市民にスポーツをする機会を提供するため、学校施設利用に関する統一ルールを策定するとともに、利用手続は学校ではなく教育委員会がすべき。 (7)基本計画の主要施策5－3スポーツ団体・クラブの育成に、総合型地域スポーツクラブについては、クラブ創設から質的充実への移行期となっており、必要な支援や助成制度の情報提供を行うとあるが、令和7年度の取組について伺う。 (8)スポーツ振興くじ助成（総合型地域スポーツクラブ活動助成）を活用し、中学校部活動の地域展開の受皿になり得る総合型地域スポーツクラブの新規設立を推進すべき。	市 長 教育長 市 長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長	
4	1 移住定住支援について	1番 阿部 正義 (1)移住促進を図るため、移住希望者に対し、希望地域の環境を知るための滞在期間に要した宿泊費を補助する「お試し滞在補助金」を行っている自治体がある。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。 (2)婚姻またはパートナーシップ宣言を機に、本市で新生活を開始し定住する意思がある方へ助成を行うべきと考えるがどうか。	市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 グリーフケアについて	(3) 移住定住促進と空家等対策を同時に推進するため、定住する目的で空き家の売買契約または賃貸借契約を締結した移住者に対し、補助を設けるべきと考えるがどうか。 (4) 定住人口増と地域活性化を目的に、住宅を取得し転入する人に対し、県外移住支援加算や居住誘導区域加算など、助成対象条件による加算を設けるべきと考えるがどうか。 (1) 本市のグリーフケアに関する取組状況を伺う。 (2) グリーフケアが必要な方への支援につなげられるよう、市ホームページにある関連ページを分かりやすく集約し、グリーフケアに関する普及啓発も併せて行うべきと考えるがどうか。 (3) グリーフや心の痛みを抱えて1人で悩んでいる方などに寄り添う支援として、グリーフサポート事業を実施している自治体がある。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
5	1 名取市環境美化の促進に関する条例の運用について 2 ウェルビーイングの推進と指標の活用について	14番 吉田 良 (1) 条例を制定する背景となった課題と、現在までの課題解決状況を伺う。 (2) 遵守されていない規定があることについて、どのように捉えているのか伺う。 (3) 第7条で市長が指定することができるとされている環境美化促進重点地域を市内全域に指定し、空き缶等回収容器の設置を原則とすべき。 (4) 第4条第3項で、公共の場所の管理者に設置と維持管理が義務付けられているごみを回収する容器を、多くの人が利用する市の管理施設に設置すべき。 (5) 市は条例を遵守した上で、第2条から第4条までの責務が守られていない事例に対し、必要に応じて助言または指導するとともに、第5条に規定される必要な協力要請を行うべき。 (1) 地域幸福度などと訳されるウェルビーイング指標について、本市の実情をどのように把握しているのか伺う。 (2) 本市におけるウェルビーイングの向上に関する施策の実施状況と、その効果をどのように捉えているのか伺う。 (3) 本市職員を対象に、個人が特定されない形で無料のウェルビーイング診断を実施し、職場環境の課題を分析することにより、その改善を図るとともに、職員にウェルビーイングへの理解を促進すべき。 (4) 将来的に、庁内横断的にウェルビーイング政策を推進する体制構築を目的とする部署を設置すべき。 (5) 次期名取市長期総合計画においては、ウェルビーイングの向上を主要な柱とすることを検討すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 教育長 市 長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
6	1 高館いこいの森の早期復旧と市民が多世代で活用できる自然体験拠点について 2 身体障害者用自動車改造費補助金制度の拡充について	1 1 番 板橋 美保 (1) 高館いこいの森の現状に対する認識と早期復旧に向けた県への働きかけについて伺う。 (2) 再開後の高館いこいの森の活用についての考え方を伺う。 (3) 子供たちの遊び場及び自然体験拠点として活用すべき。 (4) 市民が多世代で活用できる自然体験拠点として、市としても広く情報発信するとともに、公共交通網の整備に取り組むべき。 (1) 現行制度において、対象者を身体障害者手帳 3 級以上としている理由について伺う。 (2) 4 級以下の身体障がい者の方々からの相談や要望の件数とその具体的な内容について伺う。 (3) 制度の対象を全ての身体障害者手帳所持者に拡大すべき。 (4) 市民への情報提供の強化と相談体制を充実すべき。また、制度について取扱事業者等への周知に努めるべき。	市 長 市 長 市 長 教育長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
7	1 マイ・タイムラインについて 2 災害時のペット同行避難について 3 古墳を生かしたまちづくりについて	1 3 番 菅原 和子 (1) マイ・タイムラインをどのように市民に周知しているのか伺う。 (2) 本市の防災教育にマイ・タイムラインの作成を取り入れているのか伺う。 (3) 小中学生のいる家庭において、夏休みなどを利用し家庭でのマイ・タイムラインの作成を推進すべき。 (1) 災害時のペット避難も想定した避難所設営訓練が下増田公民館で実施された。ペット同行避難の課題について伺う。 (2) 本市のペット同行避難について、市ホームページや防災マニュアル等にも掲載し周知を図るべき。 (3) 災害時に備えて、ペットについて日頃からの準備や心構えを記載したペット防災手帳を作成すべき。 (1) 古墳を生かした取組の実施状況について伺う。 (2) 埼玉県行田市では、古墳を巡って集める「御墳印」を古墳の来訪記念に販売している。雷神山古墳をはじめ、多くの古墳がある本市でも取り組むべき。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 市 長 市 長 教育長 市 長 教育長	
8	1 職員の配置及び処遇の考え方について	1 7 番 小野寺 美穂 (1) 新規採用職員を地域に密着している公民館に配属すべきと考えるがどうか。 (2) 生活保護等困難な事案を取り扱う部署には、採用後間もない職員や経験の浅い職員を配置するのは避けるべきと考えるがどうか。	市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 指定管理者等において、また庁内においても雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保について	(3) 職員の休暇や育児休業等に関する諸条例はあるが、その制度を活用している人をフォローする職員についての評価等はどうなされているのか。何らかの報労があつてしかるべきと考えるがどうか。 (1) 「同一労働同一賃金」について、市としてどう捉えているのか。 (2) 庁内での待遇差の解消にどのように取り組んでいるのか。また、指定管理者等に対してどのように働きかけているのか。 (3) 雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保について、鋭意取り組むべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
9	1 電気自動車等の普及について 2 聴覚情報処理障害（APD）及び聞き取り困難症（L i D）について	16番 菊地 忍 (1) 電気自動車等の購入について補助金を交付している自治体が増えている。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。 (2) 公用車への電気自動車等の導入に積極的に取り組むべきと考えるがどうか。 (3) 公共施設への充電スタンドの設置を進めるべきと考えるがどうか。 (1) APD及びL i Dについて正しく理解するための周知や教職員向けの研修会を開催すべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長 市 長 教育長	
10	1 館腰南地区及び下余田2期地区の圃場整備の推進について	8番 熊谷 克彦 (1) 館腰南地区圃場整備の実施予定面積変更等の現状について伺う。 (2) 館腰南地区圃場整備の実施予定面積変更前及び変更後のスケジュールについて伺う。 (3) 館腰南地区圃場整備を、実施予定面積変更後も遅滞なく推進すべき。 (4) 下余田2期地区圃場整備の現状について伺う。 (5) 下余田2期地区に係る農業法人の設立を支援すべき。 (6) 下余田2期地区に係る農業法人設立後は、経営、栽培技術等の支援をすべき。 (7) 下余田2期地区においては、次代を担うスマート農業を推奨すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 県道仙台名 取線沿いの中心 市街地の上下水 道及び歩道拡幅 整備について	(1) 中心市街地における、商店街の現状について伺う。 (2) 中心市街地における、上下水道の管路の配置状況及び歩道の現状について伺う。 (3) 中心市街地における土地活用促進を図るため、上下水道及び歩道拡幅整備をすべき。	市 長 市 長 市 長	
1 1	1 子宮頸がん 予防ワクチン接 種の勧奨につい て	1 5 番 大友 康信 (1) H P V ワクチンは他のワクチンと比較し健康被害の危険性が高いと考えられる。全国では薬害事件として裁判が始まっているが、勧奨している自治体も責任を問われるのではないかと。どのように捉えているのか伺う。 (2) これまでの接種者数の推移、接種後の相談件数、主な症状や内容など、本市における現状について伺う。 (3) H P V ワクチン予防接種健康被害救済制度への申請や相談の件数は。 (4) 健康被害の危険性が高いと考えられる H P V ワクチンの接種勧奨を直ちに中止すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
1 2	1 防犯カメラ を活用した安 全・安心な生活 環境づくりにつ いて 2 閑上地区海 浜地の利活用につ いて	2 番 今野 慎介 (1) 現在、本市が管理している防犯カメラの設置台数について伺う。 (2) 公共施設に設置する防犯カメラの設置に関するガイドラインの内容を伺う。 (3) 市が設置する防犯カメラの拡充を図り、安全・安心な生活環境づくりに取り組むべき。 (1) 震災以降現在までの閑上地区海浜地の利活用について現状を伺う。 (2) 閑上地区海浜地の今後の在り方について、市はどのように捉えているのか伺う。 (3) 本市の交流人口を増やすため、年間を通じて閑上地区海浜地を最大限利活用した施策に取り組むべき。	市 長 教育長 市 長 市 長 教育長 市 長 市 長 市 長	
1 3	1 名取市総合 評価競争入札方 式落札者決定基 準について	7 番 二階堂 充 (1) 名取市総合評価落札方式・価格以外の評価項目及び評価基準の中にある過去の工事实績を、過去5年間としている理由について伺う。 (2) 国や県などは過去の工事实績を過去15年間としている。多くの企業に工事实績による加点の幅を広げるべく、本市も過去の工事实績期間を15年に改めるべき。 (3) 今回「女性の力を活かす企業の認証」を「くるみん」「えるぼし」「女性のチカラを活かす企業」の認証と細分化したが、現在市内で認証を受けている企業数について伺う。	市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 地元企業育成のための入札制度改善について	(4) 女性活躍の場を今後増やすべく「くるみん」「えるぼし」「女性のチカラを活かす企業」に係る配点を見直すべき。 (5) 今回、名取市消防団員の雇用実績に学生消防団の雇用実績が追加され、人数も3名以上の雇用との項目が新たに追加されたが、その理由について伺う。 (6) 現在、消防団に入団届を提出し、団の活動をせずとも地域貢献の配点がされているが、活動実績を考慮した評価基準に見直すべき。 (1) より多くの企業の受注機会の拡大を図るべく、県でも採用している建設工事総合評価落札方式（技術提案チャレンジ型）を本市も導入すべき。 (2) 他自治体でも実施しており、令和7年度県においても試行している一抜け入札方式を、入札制度のさらなる充実のため本市でも導入すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
1 4	1 なとりスーパーキッズ育成事業について 2 監査制度の充実について	1 2 番 大久保 主計 (1) 第2期以降の募集を中止した理由を明らかにすべき。 (2) これまでの事業目的の達成率や費用対効果、財源の確保などをどのように評価し、今後の事業継続に取り組む考えか伺う。 (3) なとりスーパーキッズ育成事業に係る訴訟を検証して、どこに問題があったのか、改善策を検討し、今後の市政運営にどのように反映させるのかを示すべき。 (1) 外部監査制度の導入を検討するなど、監査制度のより一層の充実を図るべき。	市 長 市 長 教育長 市 長 市 長	